

# 中央小ものがたり

やさしく かしく たくましく

令和3年10月20日  
大村市立中央小学校  
発行 石司 貴弘

## 命を守るために どうすればよいか 「考える・行動する」

～ 火災を想定した避難訓練 ～

「理科室から火災が発生しました。  
先生の指示に従って、避難はじめ」

放送による指示で、全校児童を危険箇所から遠ざける訓練を実施しました。ほとんどの子どもは静かに、すばやく、安全に行動できていました。1学期の訓練よりもよかったことは、

☆避難に要する時間が短くなりました

☆避難中の無駄なお話が減りました

前回よりもよくなったということは、子どもたちなりに悪かったこと(反省すべき点)を意識していたということです。このことは、大いに誉めるべきことです。

しかし、気になることもありました。

△放送のサインの後に、悪ふざけをして大声を出す

△放送や担任の指示に注意を向けることができない(少数ではあるものの…)

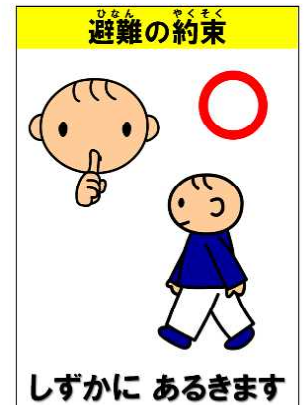
「もしも本当に起こったらどうすればよいのか」と、自分事として真剣にとらえることができるようなかかわりが必要になると感じました。

子どもたちにとって、火事や地震といった災害は身近ではありません。経験によって怖さを知っている子はそう多くないでしょう。だから、訓練に対して切実感や切迫感を感じるということが難しいのかも知れません。しかし、訓練の時にしっかり考え・行動できないと、現実に関わったときに対応できるとは思えません。

訓練の後には各学級で指導を行いました。

- 放送や先生の指示は聞くこと
- どうすればよいか考えること
- 安全な行動をすること

今後も、定期的に命を守る大切な学習を続けています。もしもの時に備え、御家庭でも話題にしていただければ幸いです。



スクールカウンセラー **長谷川優美**先生から  
みなさまへのメッセージ ※前回の続きです



## ストレス心理学しんりがくについてのお話です。

① ストレッサーがいざいかに気づき、外在化する。

「交通事故こうつうじこにあった」、「家族かぞくと大げんかした」などの大きいストレスしんりには気づきやすいですが、「買ったかったアイスがなかった」「くつが少しよご汚れた」など、小さなストレスしんりに気づくことに、意味や効果があるとされています。

それらに気づいて、紙かみに書き出したり、スマホにメモしたりすることを 外在化 といいます。

みなさんのストレスしんりはどんなものでしょう？

## 行事予定



28日(木) スクールコンサート

※大村室内合奏団が中央小学校を訪問し、演奏を披露していただきます。(5年生が対象)

2日(火) 5年生：食育授業(西大村小 高橋栄養教諭)

3日(日) 祝 文化の日

4(木)・5(金) 6年生修学旅行(平戸市泊)

10(水)・11(木) 5年生野外体験活動(諫早市)

19日(金) 県教委学校訪問

21日(日) 中央小校区健全協ウオークラリー

23日(土) 祝 勤労感謝の日

24日(水) 第4学年授業参観・懇談会(校内音楽会)

25日(木) 第5・6学年 ひまわり そよかぜ授業参観・懇談会

26日(金) 第1・2・3学年 授業参観・懇談会